○【周産期医療対策】各指標の状況

【資料1－4】

具体的施策

【周産期医療を担う人材の育成・確保】

番号			策定時	1年後	2年後	3年後
1	産婦人科・小児科医師の育成・確保					
	産科・産婦人科医師数 （※）		170人【R2】	201人【R4】	192人【R6】	192人【R6】
	病院勤務小児科医師数（小児人口1万人あたり）（※） （ ）内は実数		6.5人（137人）【R2】	6.8人（138人）【R4】	7.2人（137人）【R6】	7.2人（137人）【R6】
	就業助産師数（人口10万人あたり）（※） （ ）内は実数		28.5人（496人）【R4】	―	30.7人（525人）【R6】	30.7人（525人）【R6】
	分娩を取扱う医師数 （※）	病院	91.0人【R2】	―	100.3人【R5】	100.3人【R5】
		診療所	37.7人【R2】	―	32.3人【R5】	32.3人【R5】
2	助産師の育成・スキルアップ		策定時	1年後	2年後	3年後
	助産師出向支援の実施件数		4組【R4】	5組【R5】	2組【R6】	5組【R7】

【産科における病院と診療所の適切な機能分担、連携体制の構築】

番号			策定時	1年後	2年後	3年後
3	病院と診療所の機能分担					
	NICUを有する病院・病床数		7病院 63床【R2】	7病院 63床【R5】	7病院 63床【R6】	7病院 57床【R7】
	GCUを有する病院・病床数		5病院 57床【R2】	5病院 60床【R5】	5病院 60床【R6】	6病院 66床【R7】
	分娩取扱施設数	病院	13施設【R5.10末】	13施設【R7.1末】	13施設【R8.1末】	13施設【R8.10末】
		診療所	17施設【R5.10末】	14施設【R7.1末】	13施設【R8.1末】	12施設【R8.10末】
	分娩数	病院	4,930件【R4】	4,742件【R5】	4,536件【R6】	4,889件【R7】
		診療所	6,276件【R4】	5,688件【R5】	5,177件【R6】	4,529件【R7】
4	母子保健・医療・福祉の取組		策定時	1年後	2年後	3年後
	―		―	―	―	―
5	新生児搬送の体制強化		策定時	1年後	2年後	3年後
	母体・新生児搬送数	母体	284件【R3】	426件【R4】	388件【R5】	●件【R6】
		新生児	212件【R3】	98件【R4】	124件【R5】	●件【R6】
	母体・新生児搬送数のうち 受入困難な事例の件数		43件【R3】	61件【R4】	49件【R5】	23件【R6】
6	災害時の周産期医療体制		策定時	1年後	2年後	3年後
	災害時小児周産期リエゾン委嘱人数		27人【R5】	29人【R6】	33人【R7】	36人【R8】

中間アウトカム

番号	周産期医療を担う人材育成・確保	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	産科・産婦人科医師数（再掲）	170人【R2】	201人【R4】	192人【R6】	192人【R6】	―
	病院勤務小児科医師数（小児人口1万人あたり） （ ）内は実数 （再掲）	6.5人（137人）【R2】	6.8人（138人）【R4】	7.2人（137人）【R6】	7.2人（137人）【R6】	7.9人（169人）
	就業助産師数（人口10万人あたり） （ ）内は実数 （再掲）	28.5人（496人）【R4】	―	30.7人（525人）【R6】	30.7人（525人）【R6】	34.7人（594人）

番号	周産期医療体制の強化（機能分化・連携体制）	策定時	1年後	2年後	3年後
2	NICU入室児数 （※）	1,536人【R2】	1,429人【R5】	1,429人【R5】	1,429人【R5】
	NICU入院児の退院支援を専任で行う人が配置されている周産期母子医療センター数	2施設【R4】	0施設【R5】	2施設【R6】	3施設【R7】
	ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数	12施設【R5.10】	11施設【R7.1】	11施設【R8.1】	11施設【R8.10】

NDB（R7：R6実績）結果待ち

分野アウトカム

番号	安全で安心して妊娠・出産でき、産後の育児まで途切れることなく支援が受けられる環境が整っている	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	妊産婦死亡率（出産10万あたり） （ ）内は実数	9.4（1人）【R4】	0.0（0人）【R5】	11.0（1人）【R6】	0.0（0人）【R7】	0.0
	周産期死亡率（出産千あたり）	2.9【R4】	3.2【R5】	2.6【R6】	2.8【R7】	2.0以下
	うち死産率（22週以後）	2.6【R4】	2.8【R5】	2.4【R6】	2.3【R7】	1.8以下
	うち早期新生児死亡率	0.4【R4】	0.4【R5】	0.2【R6】	0.6【R7】	0.3以下

（※）統計データの最新の数値がR6またはR5であるため、「2年後」または「3年後」が再掲となっている。